インバウンドの「変化の兆し」をいち早く

都道府県別訪日外客数と訪問率

月次指標の早期推計：7月レポート

野村亮輔（副主任研究員）
稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 上席研究員）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

●8 月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶JNTO 訪日外客統計によれば(図 1 及び表 3)、**7 月の訪日外客総数(推計値)は** 232 万 600 人となり、**2 カ月連続で 200 万人を超えた**(6 月：207 万 3,300 人)。**2019 年同月比では**-22.4%と**コロナ禍前の 8 割に迫る水準まで回復**。なお、**中国人客を除いた総数は** 200 万 7,300 人と**コロナ禍前(同+3.4%)を上回った**。欧米地域などで夏季休暇の時期に入ったこともあり、日本へ訪れる人が増加したようである。また、**同月の出国日本人数は** 89 万 1,600 人となり、前月(70 万 3,259 人)から増加。19 年同月比では-46.3%と**コロナ禍前の 5 割超を回復**し、アウトバウンド需要は持ち直しつつある。

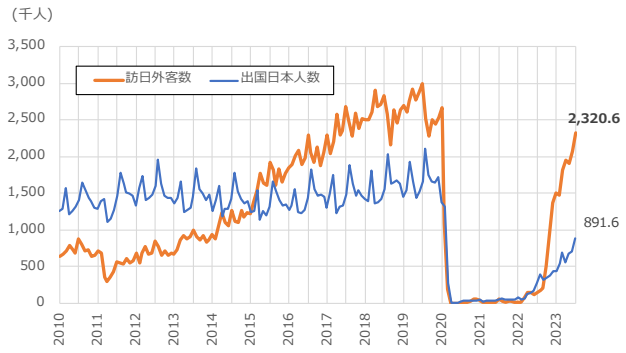
▶訪日外客数のトップ 5 を国・地域別にみると、**韓国が 62 万 6,800 人(2019 年同月比+11.6%)と最多**であり、次いで台湾が 42 万 2,300 人(同-8.0%)、中国が 31 万 3,300 人(同-70.2%)、香港が 21 万 6,400 人(同-0.2%)、米国が 19 万 8,800 人(**同+26.7%**)と続く。19 年同月比でみれば、韓国や米国に加え、フィリピン、カナダなどがコロナ禍前の水準を上回った(図 2 及び表 3)。

▶**目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば、5 月は 189 万 9,176 人**となった(2019 年同月比-31.5%)(図 3 及び表 4)。うち、**観光客は 165 万 6,118 人**となった(同-32.6%)。商用客は 9 万 5,468 人(同-39.4%)、その他客は 14 万 7,590 人(同-7.5%)であった。

▶うち、**観光客の TOP5 を国・地域別にみれば、5 月は韓国が** 48 万 6,223 人(2019 年同月比-12.0%)**と最多**であった。次いで台湾が 29 万 1,185 人(同-28.5%)、**米国が** 16 万 7,934 人(**同+29.2%**)、香港が 15 万 1,318 人(同-17.9%)、中国が 7 万 8,769 人(同-88.2%)と続く(表 4)。

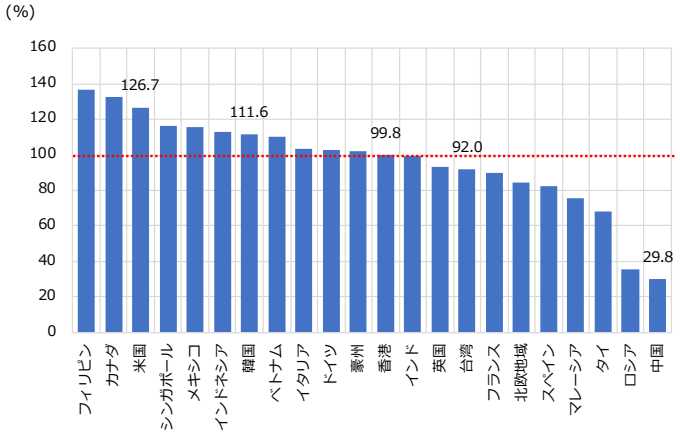
▶訪日外客の先行きについては、中国人客がどの程度回復するかが気になるところである。8 月 10 日から、**中国人客の団体旅行が解禁されたものの**、日中関係の変化や中国経済の減速などのリスク要因で**回復のペースが緩慢となる可能性**がある。一方、中国人客を除く訪日外客は着実に回復しており、1 人当たりの消費単価も上昇している。今後の課題は、**団体旅行解禁による消費単価の低下を避ける**とともに、**急増するインバウンド需要に対して日本の労働供給制約をいかに解消するか**である(中国人客の回復についての詳細な分析は APIR Trend Watch No.88 参照)。

図 1　訪日外客数及び出国日本人数の推移



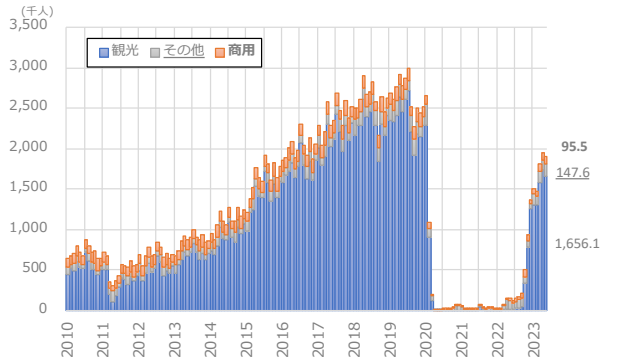
出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 2022 年まで確定値、23 年 1-5 月は暫定値、23 年 6-7 月は推計値

図 2　国・地域別コロナ禍前の回復比較：2023 年 7 月



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成。

図 3　目的別訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 目的別訪日外客数については訪日外客数(推計値)から 2 カ月遅れて発表される。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

*本レポートで使用している観光庁「訪日外国人消費動向調査」の統計調査が現在行われていないため、2020 年 11 月公表分レポートより内容を一部変更していることにご留意頂きたい。

トピックス 1

●7 月関西の財貨・サービス貿易及び 6 月のサービス産業動向

▶**関西 7 月の輸出額は前年同月比-5.0%と 3 カ月連続で減少**した(前月：同-7.1%)。また、**輸入額は同-17.0%と 4 カ月連続で減少**し、**3 カ月連続で 2 桁のマイナス**となった(前月：同-15.5%)。結果、**貿易収支は**+1,931 億円となり、**6 カ月連続の黒字**となった(前年同月差+2,274 億円)。輸出入ともに減少したが、輸入の減少幅が輸出のそれを大きく上回ったためである(図 4)。

▶うち、対中貿易動向をみると(図 5)、**関西 7 月の対中輸出は前年同月比-15.8%と 3 カ月連続で減少**し、減少幅は前月(同-9.2%)から拡大。輸出減に寄与したのは半導体等電子部品や鉄鋼等であった。また、**対中輸入は同-16.4%と 3 カ月連続の減少**(前月：同-16.9%)。輸入減に寄与したのは事務用機器及び加熱用・冷却用機器等であった。

▶**7 月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は**60 万 1,246 人と前月(55 万 2,492 人)から増加し、**コロナ禍前の 8 割**(2019 年同月比-21.5%)**に迫る水準まで回復**した。また、日本人出国者数は 15 万 4,563 人であった。2019 年同月比では-51.5%と、前月(同-59.6%)からマイナス幅は縮小した(図 6)。

▶**6 月のサービス業の活動は前月から悪化したが、持ち直し傾向は維持**している。サービス業の生産活動を示す**第 3 次産業活動指数**(季節調整済み：2015 年平均=100)をみれば(図 7)、6 月は 101.3 で前月比-0.4%低下し、**3 カ月ぶりのマイナス**となった(前月：同+1.0%)。一方、**対面型サービス業指数***は 94.1 で、同+0.1%小幅上昇し、**2 カ月ぶりのプラス**(前月：同-0.9%)。うち、運輸業(同+2.6%、2 カ月ぶり)や宿泊業(同+8.2%、2 カ月ぶり)が上昇に寄与した。結果、**4-6 月期の第 3 次産業活動指数は** 101.2 で、前期比+0.8%上昇し、**2 四半期連続のプラス**(1-3 月期：同+1.0%)。また、**対面型サービス業は**94.3 で、同+0.5%上昇し、**7 四半期連続のプラス**となった(1-3 月期：同+2.6%)。

▶**観光関連指数****(2015 年平均=100)は、89.4 と前月比-2.6%低下し、**3 カ月ぶりのマイナス**(前月：同+3.1%)(図 7)。うち、飲食店、飲食サービス業(同-9.5%、2 カ月ぶり)や道路旅客運送業(同-4.6%、2 カ月ぶり)が低下に寄与した。結果、**4-6 月期は** 90.1 で、前期比-0.8%低下し、**5 四半期ぶりのマイナス**となった(1-3 月期：同+7.6%)。

*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

**観光関連指数は第 3 次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店，飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図 4 関西 対世界貿易の推移

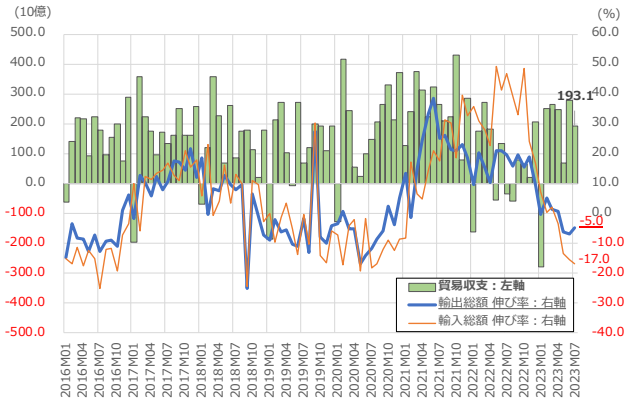
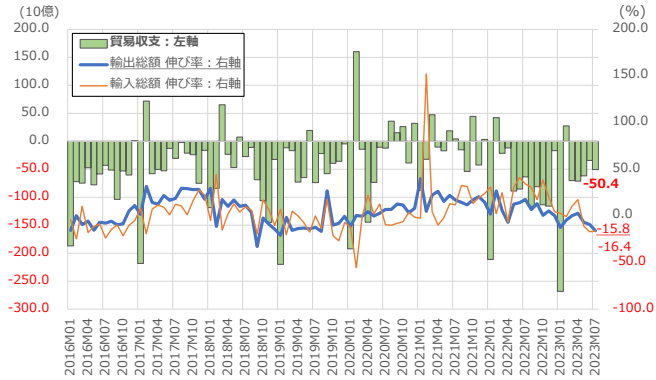
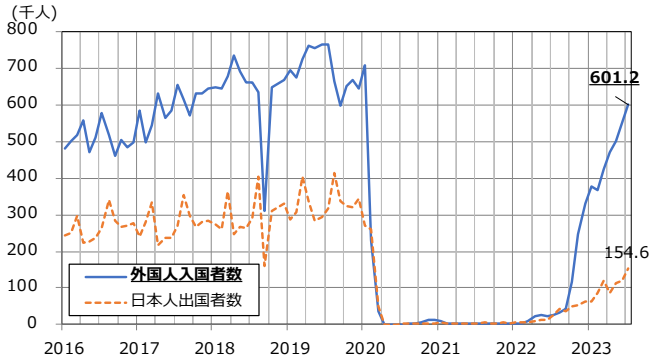


図 5 関西 対中貿易の推移



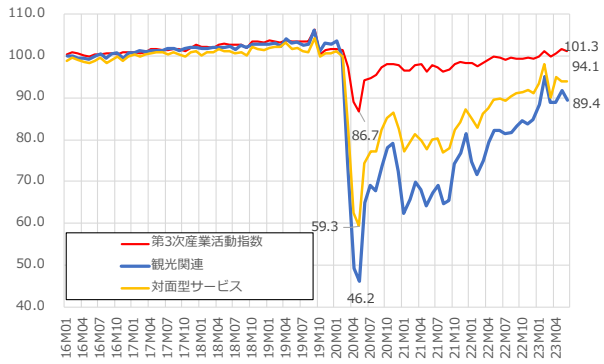
出所：「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」より筆者作成

図 6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。2023 年 7 月値は速報値

図 7 観光関連 対面型サービス 第 3 次産業：2015 年=100



出所：経済産業省「第 3 次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

●5 月延べ宿泊者数の動向：関西 2 府 8 県

▶観光庁によれば、**5 月の関西 2 府 8 県の延べ宿泊者数(全体)は** 10,486 千人泊であった(表 1)。**2019 年同月比-4.6%と 5 カ月連続の減少**だが、**前月(同-14.6%)から減少幅は縮小**した。日本人延べ宿泊者の回復は停滞した一方で、外国人延べ宿泊者数は回復しているようである。

▶**日本人延べ宿泊者数は** 7,818.9 千人泊となった。**2019 年同月比-3.1%と 2 カ月連続で減少**した(前月：同-11.2%)(表 1 及び図 8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府 2,649.7 千人泊、京都府 1,850.9 千人泊、兵庫県 1,197.6 千人泊、三重県 555.4 千人泊、滋賀県 350.0 千人泊、和歌山県 334.5 千人泊、福井県 254.6 千人泊、奈良県 217.9 千人泊、徳島県 215.9 千人泊、鳥取県 192.6 千人泊であった。2019 年同月比をみれば、**大阪府(同+8.3%)と兵庫県(同+8.9%)はプラスに転じた**が、その他府県ではマイナスとなった。

▶**外国人延べ宿泊者数は** 2,667 千人泊となった。**2019 年同月比-8.6%と減少幅は前月**(同-22.0%)**から縮小**し、**コロナ禍前の 9 割超を回復**した(表 1 及び図 9)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府 1,470.2 千人泊、京都府 990.3 千人泊、兵庫県 92.0 千人泊、和歌山県 38.6 千人泊、奈良県 28.7 千人泊、滋賀県 13.8 千人泊、三重県 12.8 千人泊、徳島県 10.7 千人泊、福井県 6.5 千人泊、鳥取県 3.5 千人泊であった。2019 年同月比でみると、**大阪府(同+4.4%)や京都府(同-4.2%)は前月から減少幅が大きく縮小**した。一方、徳島県は 3 カ月ぶりにマイナスに転じた。

▶関西 2 府 8 県延べ宿泊者を居住地別でみると(図 10)、県内の延べ宿泊者数は 1,518.2 千人泊、県外は 8,774.0 千人泊であった。2019 年同月比をみれば、県内は同+4.7%と 20 カ月連続のプラスで、前月(同+2.7%)から増加幅は拡大。また、県外は同-2.8%と前月(同-14.5%)から減少幅は縮小した。

図 8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

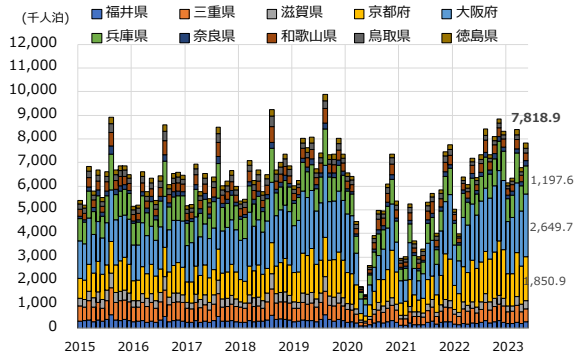


図 9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

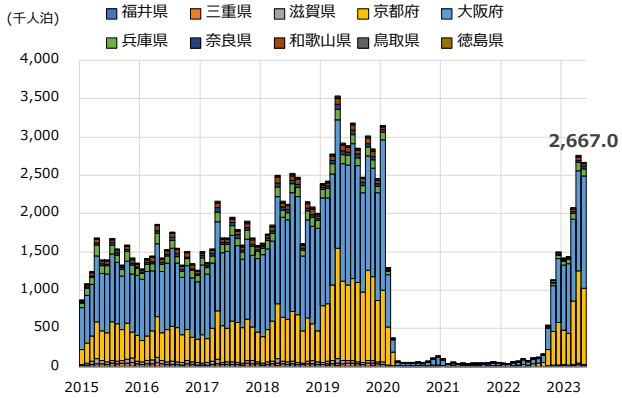
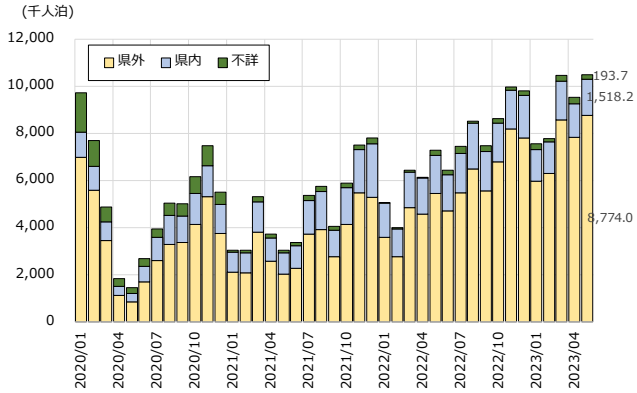


図 10 関西 居住地別延べ宿泊者比率の推移



注) 県外の宿泊者には外国人宿泊者も含まれる。

表 1 関西 延べ宿泊者数伸び率：5 月

2023年5月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数：(千人泊)	19年比伸び率：5月(%)	19年比伸び率：4月(%)	延べ宿泊者数：(千人泊)	19年比伸び率：5月(%)	19年比伸び率：4月(%)	延べ宿泊者数：(千人泊)	19年比伸び率：5月(%)	19年比伸び率：4月(%)
福井県	261.0	-21.6	-38.9	254.6	-21.4	-38.9	6.5	-28.6	-39.1
三重県	568.2	-25.8	-30.4	555.4	-24.1	-29.6	12.8	-62.0	-44.6
滋賀県	363.8	-23.7	-26.3	350.0	-20.3	-21.2	13.8	-63.2	-66.6
京都府	2,841.2	-2.1	-8.6	1,850.9	-0.9	-2.0	990.3	-4.2	-16.0
大阪府	4,119.9	3.4	-11.7	2,649.7	8.3	-4.4	1,470.2	-4.4	-22.3
兵庫県	1,289.5	5.9	-5.7	1,197.6	8.9	-3.8	92.0	-22.3	-21.2
奈良県	246.6	-16.7	-25.1	217.9	-11.0	-13.5	28.7	-43.9	-61.2
和歌山県	373.1	-21.1	-31.6	334.5	-17.2	-28.8	38.6	-43.8	-44.3
鳥取県	196.1	-31.9	-32.1	192.6	-29.5	-29.6	3.5	-75.9	-67.2
徳島県	226.6	-10.1	-21.8	215.9	-10.3	-24.0	10.7	-6.0	13.8
関西2府4県	9,234.1	-1.2	-12.0	6,600.6	1.5	-6.6	2,633.5	-7.5	-21.6
関西2府8県	**10,485.9**	**-4.6**	**-14.6**	**7,818.9**	**-3.1**	**-11.2**	**2,667.0**	**-8.6**	**-22.0**
全国	49,258.4	-4.2	-10.2	40,492.5	-2.8	-8.7	8,765.9	-9.9	-15.6

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図 8～10 及び表 1)

トピックス 3

●2023 年 4-6 月期国内旅行消費の動向：関西 2 府 8 県*

▶観光庁によれば、**2023 年 4-6 月期関西**(2 府 8 県ベース)の**国内旅行消費額**(速報)は 1 兆 497 億円であった(表 2)。2019 年同期比-15.7%と**3 四半期ぶりのマイナス**に転じた(1-3 月期：同+8.2%)。4-6 月期の観光関連指数(トピックス 2 参照)が示したように、低調な国内旅行消費と指数の動きとは整合的である。

▶うち、**宿泊旅行消費額は** 8,389 億円で、2019 年同期比-0.3%と**3 四半期ぶりのマイナス**(1-3 月期：同+19.5%)(図 11 及び表 2)。消費額のトップ 5 を府県別にみれば、大阪府が 2,437 億円(同-17.8%)と最も多く、次いで京都府が 1,378 億円(同+7.9%)、兵庫県が 1,141 億円(同-30.7%)、奈良県が 717 億円(同+72.6%)、和歌山県が 687 億円(同+25.0%)と続く。19 年同期比をみれば、**大阪府と兵庫県がマイナス**となり、宿泊旅行消費の減少に寄与した。一方、その他府県ではプラスとなり、うち**奈良県や徳島県が大幅増加**した。

▶うち、**日帰り旅行消費額は** 2,109 億円、2019 年同期比-47.7%と 1-3 月期(同-22.8%)から**マイナス幅は拡大**した(図 12 及び表 2)。消費額のトップ 5 を府県別にみれば、大阪府が 268 億円(同-53.1%)と最も多く、次いで兵庫県が 426 億円(同-42.9%)、三重県が 298 億円(同-37.4%)、京都府が 268 億円(同-68.7%)、奈良県が 180 億円(同+1.6%)と続く。19 年同期比でみれば、**福井県**(同+106.9%)や**奈良県はそれぞれプラス**となったが、**その他府県ではマイナス**となった。

図 11 関西 2 府 8 県 宿泊旅行消費額の推移

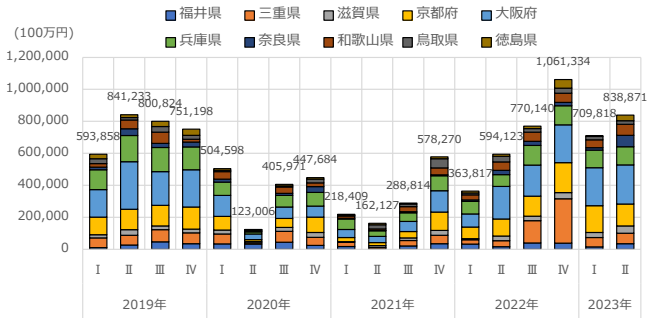
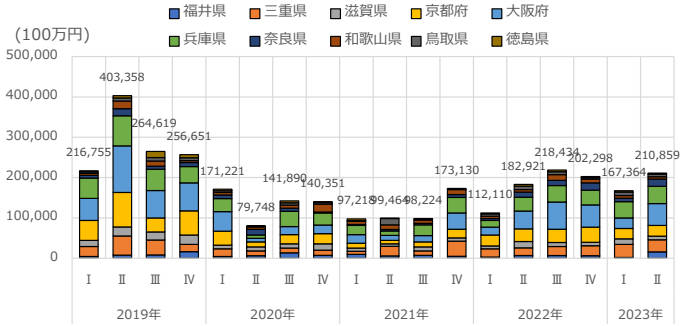


図 12 関西 2 府 8 県 日帰り旅行消費額の推移



(注) 宿泊旅行、日帰り旅行ともに、観光・レクリエーション目的以外に帰省・知人訪問等、出張・業務目的を含む。
2022 年、23 年 1-3 月期までのデータは確報。23 年 4-6 月期は速報(上図も同様)。
出所:観光庁『旅行・観光消費動向調査』より作成。

表 2 関西 国内旅行消費額：2023 年 4-6 月

2023Q2	国内旅行消費額			宿泊旅行消費額			日帰り旅行消費額		
	金額：100万円	19年比伸び率：23年4-6月期(%)	19年比伸び率：23年1-3月期(%)	金額：100万円	19年比伸び率：23年4-6月期(%)	19年比伸び率：23年1-3月期(%)	金額：100万円	19年比伸び率：23年4-6月期(%)	19年比伸び率：23年1-3月期(%)
福井県	51,060	47.3	13.7	35,188	30.4	39.9	15,873	106.9	-54.0
三重県	95,512	-11.5	6.7	65,704	9.1	-2.2	29,808	-37.4	28.2
滋賀県	53,731	-6.4	29.4	44,839	26.7	55.8	8,892	-59.7	-6.0
京都府	164,616	-22.8	20.2	137,834	7.9	50.7	26,782	-68.7	-48.1
大阪府	297,894	-27.7	16.7	243,659	-17.8	38.8	54,236	-53.1	-52.7
兵庫県	156,665	-34.5	-13.7	114,066	-30.7	-11.6	42,600	-42.9	-19.0
奈良県	89,642	51.4	3.6	71,658	72.6	-5.6	17,985	1.6	24.6
和歌山県	74,474	0.9	109.3	68,694	25.0	123.3	5,781	-69.3	39.5
鳥取県	28,043	21.0	-16.1	21,667	42.9	-34.2	6,375	-20.5	129.0
徳島県	38,092	60.6	-73.9	35,563	97.3	-83.1	2,529	-55.6	13.1
関西2府8県	**1,049,731**	**-15.7**	**8.2**	**838,871**	**-0.3**	**19.5**	**210,859**	**-47.7**	**-22.8**

出所：観光庁『旅行・観光消費動向調査』より作成。

表 3　2023 年 7 月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (対 2019 年比)

国・地域	総数　Total			総数　Total		
	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)
	7月	7月		1-7月	1-7月	
総数	2,991,189	2,320,600	-22.4	19,624,803	13,032,900	-33.6
総数(中国除く)	1,940,769	2,007,300	3.4	14,041,918	12,124,900	-13.7
韓国	561,675	626,800	11.6	4,424,333	3,755,300	-15.1
中国	1,050,420	313,300	-70.2	5,582,885	908,000	-83.7
台湾	459,216	422,300	-8.0	2,940,065	2,192,900	-25.4
香港	216,810	216,400	-0.2	1,314,699	1,126,100	-14.3
タイ	73,202	49,600	-32.2	756,797	547,300	-27.7
シンガポール	21,716	25,300	16.5	235,799	278,000	17.9
マレーシア	22,957	17,400	-24.2	260,886	211,600	-18.9
インドネシア	25,215	28,500	13.0	241,088	230,200	-4.5
フィリピン	37,771	51,700	36.9	332,891	328,800	-1.2
ベトナム	40,762	44,800	9.9	294,009	345,700	17.6
インド	13,222	13,100	-0.9	106,162	92,500	-12.9
豪州	34,873	35,600	2.1	361,779	310,400	-14.2
米国	156,865	198,800	26.7	1,031,989	1,171,000	13.5
カナダ	29,285	38,800	32.5	213,054	222,100	4.2
メキシコ	8,661	10,000	15.5	40,285	45,000	11.7
英国	28,928	27,000	-6.7	214,626	177,100	-17.5
フランス	34,634	31,100	-10.2	194,944	153,200	-21.4
ドイツ	18,593	19,100	2.7	137,072	125,900	-8.2
イタリア	13,566	14,000	3.2	88,334	73,300	-17.0
スペイン	15,771	13,000	-17.6	67,193	52,500	-21.9
ロシア	9,005	3,200	-64.5	64,945	19,400	-70.1
北欧地域	14,764	12,500	-15.3	87,109	65,600	-24.7
中東地域	6,813	9,900	45.3	52,883	61,800	16.9
その他	96,465	98,400	2.0	580,976	539,200	-7.2

表 4　2023 年 5 月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (対 2019 年比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)
	5月	5月		5月	5月		5月	5月		5月	5月	
総数	2,773,091	1,899,176	-31.5	2,455,865	1,656,118	-32.6	157,585	95,468	-39.4	159,641	147,590	-7.5
韓国	603,394	515,717	-14.5	552,260	486,223	-12.0	29,554	15,014	-49.2	21,580	14,480	-32.9
中国	756,365	134,510	-82.2	668,757	78,769	-88.2	32,172	20,265	-37.0	55,436	35,476	-36.0
台湾	426,537	303,343	-28.9	407,072	291,185	-28.5	10,996	6,491	-41.0	8,469	5,667	-33.1
香港	189,007	154,393	-18.3	184,374	151,318	-17.9	3,388	1,708	-49.6	1,245	1,367	9.8
タイ	107,857	80,728	-25.2	101,260	75,890	-25.1	3,604	2,182	-39.5	2,993	2,656	-11.3
シンガポール	37,650	49,746	32.1	33,775	47,328	40.1	3,354	2,077	-38.1	521	341	-34.5
マレーシア	42,629	34,004	-20.2	39,431	31,511	-20.1	2,137	1,446	-32.3	1,061	1,047	-1.3
インドネシア	30,107	31,120	3.4	25,015	20,489	-18.1	1,812	1,319	-27.2	3,280	9,312	183.9
フィリピン	59,578	49,939	-16.2	50,888	41,090	-19.3	2,864	3,141	9.7	5,826	5,708	-2.0
ベトナム	39,900	45,768	14.7	13,809	10,611	-23.2	3,228	2,939	-9.0	22,863	32,218	40.9
インド	19,914	17,992	-9.7	9,983	10,254	2.7	5,308	3,621	-31.8	4,623	4,117	-10.9
豪州	46,223	40,816	-11.7	41,613	37,915	-8.9	3,308	2,168	-34.5	1,302	733	-43.7
米国	156,962	183,408	16.8	129,959	167,934	29.2	19,722	10,688	-45.8	7,281	4,786	-34.3
カナダ	35,335	42,285	19.7	31,948	40,475	26.7	2,129	1,081	-49.2	1,258	729	-42.1
メキシコ	5,482	8,465	54.4	4,836	8,003	65.5	414	278	-32.9	232	184	-20.7
英国	31,642	27,739	-12.3	24,628	23,630	-4.1	5,140	2,867	-44.2	1,874	1,242	-33.7
フランス	30,863	26,754	-13.3	24,792	23,160	-6.6	3,907	2,305	-41.0	2,164	1,289	-40.4
ドイツ	21,552	23,118	7.3	15,060	19,425	29.0	5,340	2,673	-49.9	1,152	1,020	-11.5
イタリア	12,463	11,828	-5.1	9,728	9,910	1.9	2,143	1,350	-37.0	592	568	-4.1
ロシア	9,691	2,960	-69.5	7,330	2,180	-70.3	1,638	438	-73.3	723	342	-52.7
スペイン	9,971	8,581	-13.9	8,580	7,758	-9.6	913	515	-43.6	478	308	-35.6
中東地域	5,679	8,746	54.0	4,167	7,502	80.0	1,081	890	-17.7	431	354	-17.9
その他	94,290	97,216	3.1	66,600	63,558	-4.6	13,433	10,012	-25.5	14,257	23,646	65.9

注) 目的別訪日外客数の定義については、図 3 注参照。
出所: 日本政府観光局(JNTO)、2023 年 8 月 16 日付より筆者加工